

## 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー

### ー ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション ー

オーガナイザ：瀬田 和久（大阪府立大学），村上 正行（大阪大学），  
松田 憲幸（和歌山大学），後藤田 中（香川大学），田中 孝治（金沢工業大学），  
近藤 伸彦（東京都立大学），山元 翔（近畿大学）

JSiSE 学会誌編集委員会では 2015 年まで、全国大会プレカンファレンス企画として、チュートリアル“編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門”を実施してきました。

「チュートリアルコンテンツ」（解説資料やビデオ）

<http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>

- ・ 論文投稿から掲載までの流れ、投稿に際しての注意
- ・ 論文種別と採録基準 —現状と改訂の方向性—
- ・ 査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- ・ 教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

今回セッション前半では、学会誌 38 巻 2 号に掲載された以下の 2 本に解説論文に基づき、これからの論文執筆・投稿の参考となるチュートリアルを実施いたします。

- ・ 瀬田和久，桑原千幸，仲林清：採録される論文の書き方—誌上チュートリアル
- ・ 田中孝治，津森伸一：教育システム情報学における質的データを扱う学習評価のミカタ

また、セッション後半では、「反転+ディスカッションベース」の論文投稿の相談会を継続します。これは、5 年前（2016 年）から、上記コンテンツを事前に視聴いただいた上で、対面でのご相談・議論に臨む相談会を実施しているもので、例年ご好評をいただき、本年度も継続するものです。

本学会には、「一般論文」，「実践論文」，「ショートノート」，「実践速報」の 4 つの研究論文カテゴリがあります。例えば、論文投稿をしたいが 4 つの論文カテゴリの区別が判然としない方や、実践論文として満たさなければならない基準を知りたい方、研究を進める上でのポイントやヒントが欲しい方、査読における考え方を整理したい方など、投稿に関するあらゆる不安・お悩みについて、編集委員・参加者の知恵を合わせて、是非、一緒に考えたいと思います。

一般・特集号に関わらず、今後投稿を予定しておられ、論文執筆について編集委員（Adviser）から直接アドバイスを受けたい方（Advisee）には、次の二つをお願いします。

1. 事前にチュートリアルコンテンツを閲覧
2. プレカンファレンス、当日、投稿予定の研究内容や執筆上のお悩みをプレゼン  
（特に 1. の閲覧に基づき、評価して欲しい「新規性」，「有用性」をプレゼンでご提示下さい）

Advisee の方は、事前に参加申し込みをお願いします（募集の詳細は学会員メーリングリスト jnews などでお知らせします。なお希望者多数の場合は抽選になることがございます）。学生や若手研究者をはじめ、オンライン講義に関わる教育システムの実践・運用事例の投稿を検討されている方もご参加下さい。また Advisee でない方のご参加も歓迎いたします。Advisee のプレゼンや編集委員との議論を聴講していただくだけでも、歓迎いたします。編集委員・参加者との対話・議論を通して、参加者の皆様に論文執筆へとつながるブレークスルーを見出していただきたいと思います。